

いつでも、どこでも、だれでも 郵送でできる血液検査で、新型コロナ抗体をチェック

DEMECAL[®]

自己採血
郵送血液
検査

管理医療機器承認番号:22600BZX00362000



指先からのわずかな自己採血を郵送するだけで、新型コロナワクチン接種後の抗体の量が確認できます。

ワクチン接種後の抗体の確認に

ウイルス感染
を抑制する
中和活性の指標
を数値で確認



自信を
持って行動
したいときの
抗体検査



新型コロナウイルスのワクチン接種により
ウイルス感染を抑制する抗体がつくられますが、
抗体ができる量には個人差があります。

「新型コロナウイルス抗体セルフチェック」は、
ワクチン接種後の中和活性の指標となる抗体量を数値で確認できます。

スパイク
タンパク質の
RBDに結合する
IgG抗体量を
測定

いままでの
新型コロナ
ウイルス検査
との違い

検査の種類	PCR検査 キット	抗原検査 キット	抗体検査 キット	新型コロナウイルス抗体 セルフチェック
検査目的	現在感染 しているかを調べる		直近・過去の感染 有無を調べる	中和活性(感染予防、 重症化予防) 能力のレベルを調べる
調べる場所	ウイルスの 遺伝子	ウイルスが持つ 特有のタンパク質	ウイルス感染後に 形成される タンパク質	中和活性の指標となる タンパク質 (S-RBD IgG抗体)
検査方法	鼻や喉の 粘膜を採取	鼻や喉の 粘膜を採取	血液を採取	血液を採取
現在の感染を 調べる	○	○	△	—
免疫レベルを 調べる	—	—	—	○

ウイルス感染を抑制する抗体の量を数値で確認できます。



NEW

希望小売価格(税別)
12,800 円

新型コロナウイルス抗体セルフチェック

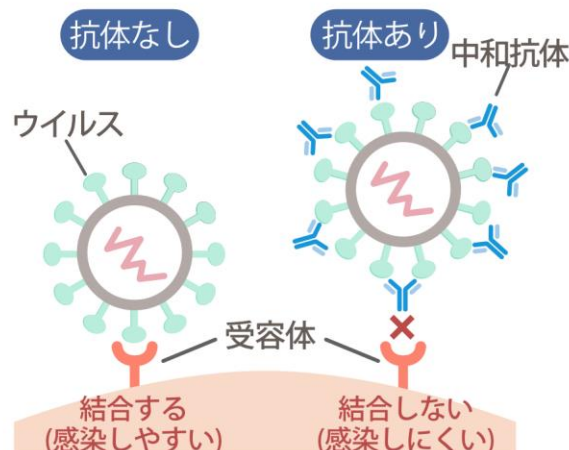
検査項目

- IgG抗体 — スパイクタンパク質のRBDに結合するIgG抗体量の確認

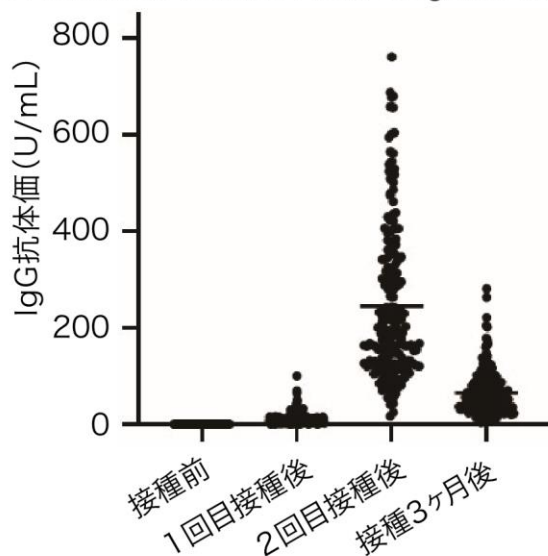
新型コロナワクチン接種によって獲得する感染を抑制する中和活性の指標となる抗体の量を数値で確認できます。新型コロナウイルス感染リスクの指標の一つとしてご利用ください。

「中和抗体」とは

新型コロナウイルスがヒトの細胞と結合するのを阻害して、無力化したり、働きを弱める抗体を中和抗体といいます。抗体の量は、時間とともに減少していくことがわかっています。



ワクチン接種前から接種3ヶ月後までのIgG抗体価の変化



	接種前	1回目接種	2回目接種	接種3ヶ月後
平均(U/mL)	0.1	11.9	245.4	65.9
中央値(U/mL)	0.0	7.7	195.0	55.0
SD(U/mL)	0.2	13.0	154.2	44.6

抗体価を定量値(絶対値)で報告

新型コロナウイルス感染症に罹患、または新型コロナワクチン接種により、体内で抗体が産生されますが、その中でも中和活性(ウイルスの感染や増殖を阻害する作用)と強い相関があるS-RBD*1に対するIgG抗体価*2を富士フイルム和光純薬株式会社の試験試薬で測定しています。

左図に示すように、ワクチン接種で抗体が産生されるものの個人差が大きく、時間経過とともに低下することがわかってきました。

*1: S-RBD (SARS-CoV-2スパイクタンパク受容体結合ドメイン)とは、新型コロナウイルスがヒト細胞の中へ侵入するために必要なタンパク質の一部。

*2: 藤田医科大学、国立感染症研究所、富士フイルム和光純薬株式会社の国内における共同研究によりS-RBDに対するIgG抗体価の有効性が明らかになりました。

H.Fujigaki, et al. J. Immunol 2021;206:2393-2401